富士市立中央病院
病院だより
Fuji City General Hospital

第 7 号
発行：平成22年1月20日
〒417-8567 富士市高島町50
電話：0545-52-1131 FAX：0545-51-7077
E-mail：byoin@div.city.fuji.shizuoka.jp
http://www.city.fuji.shizuoka.jp/~byoin/

7対1看護で安心・安全な医療をめざして

平成18年度に7対1看護配置基準が設定され、当院では平成22年度から7対1看護を開始する予定です。7対1看護とは、看護職員1人が患者7人を受け持つことで、これまでの10対1看護よりも手厚い看護体制とすることです。

この実施に当たっては看護師の確保が必要となることから、平成20年度から2ヶ年に渡って看護師を募集し、平成22年度からの実施に向け、準備を行いました。

看護部の理念として「一人ひとりを大切にした看護を提供します」を掲げ、看護職員一同（看護師391名・医療補助員66名）で日々看護をさせていただいています。現在、三交代勤務を行い、病棟で働いている看護師は日勤で100名程度、夜勤では32名となっています。医療の世界ではマンパワーは不可欠ですが、現状では夜勤帯は1病棟50名前後の患者さまに3名の看護師で、出来うる限りのケアに努めているところです。

また、急性期病院※の常として緊急入院の方も多く（平成20年度新規入院数9,403名）、看護業務は多忙を極めております。

当院は、看護職員を手厚く配置して、更に安全で質の高い医療・看護の提供につながる急性期病院を目指し努力してまいります。

井上副看護部長　高田副看護部長
鈴木副院長兼看護部長

平成22年1月
副院長兼看護部長　鈴木　優子

（※急性期病院とは、救急もしくは重症な患者さまを中心に、入院および手術等、高度で専門的な医療を24時間体制で行う病院のことです。）

看護部行動指針

1.患者さまの人権を尊重した看護を実践する。
2.豊かな人間性を養い、専門的知識に基づいた看護を実践する。
3.地域医療への貢献とチーム医療を推進する。
4.個を尊重した活気あふれた職場づくりをめざす。

専門性高い看護をめざして　～認定看護師とは～

高度・専門化する医療、変化する保健・医療・福祉の環境の中で看護の役割が拡大し、臨床においても質の高い看護ケアが求められています。

認定看護師とは、このような現場の中で、特定の分野において、熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護実践ができ、ケアの広がりと看護の質の向上を図ることを目的に指導・実践・教育・研究などを行う者です。

現在、当院では4分野（がん化学療法看護・手術看護・透析看護・訪問看護）の認定看護師がいます。がん化学療法看護・手術看護は日本看護協会の6ケ月の教育を終了し、認定審査に合格した者、透析看護・訪問看護は院内の審査を通過し、院長の承認を得た者です。活動は、それぞれの分野での患者ケア及びスタッフの指導、学習会や研修会の開催、看護専門学校の非常勤講師等を務めることです。

また、院外からの講師依頼が増え活動も拡大してきました。患者さまや同僚からも強い信頼を得ています。

今年度は皮膚・排泄分野の日本看護協会の認定看護師も誕生します。当院の更なる看護の質の向上を目指して、活動していきたいと思っています。尚、当院の看護部長、副看護部長は日本看護協会認定看護管理者※であり、これらの人達の活動をサポートしています。

（※認定看護管理者とは、管理者としての資質を持ち、創造的に組織を発展させることができる能力を保有していると認められ、審査に合格した者です。）

認定看護管理者バッチ
Certified Nurse Administrator

病棟紹介～3D（感染症）病棟～

新型インフルエンザ（A/H1N1）が大流行しています。

当院でも、6月以降、幼児から小・中学生のインフルエンザ罹患患者の入退院が後を絶たない状況です。

3D病棟は陰圧空調設備があり、病床数は6床（個室2室・2人部屋2室）です。窓の開閉は出来ませんが、テレビ・冷蔵庫・乾燥機付洗濯機が設置され、患者さまのご家族の出入りは可能です。

すでに、新聞等で報道されていますように重症化する患者さまもいますので、人工呼吸器・心電図モニターが設置され、出来うる限りの設備を整えています。

隣接する3B病棟スタッフが主に担当しますが、患者数の増加・重症化に伴い各セクションから協力体制をとり、三交代勤務で看護に当たっています。

また、入院中の不安を軽減していただけるよう、小児の場合はご家族の付き添いをお願いしています。

インフルエンザは飛沫感染・接触感染です。医療従事者だけでなく、患者さま・ご家族の方にもサージカルマスクの着用・手洗い・速乾性擦式アルコールでの手指消毒を徹底し、ご協力いただいています。一般家庭においても咳エチケット・うがい・手洗いの励行を行い、感染予防に努めてください。

（3D 病棟紹介）

中学生の現場体験～看護師さんになりたいな～

当院では毎年中学生の職場体験の受け入れをしています。

今年度は、10月27日に岳陽中学校2年生4名、11月5・6日に田子浦中学校3年生の9名が来院しました。

看護師としての心構えや資格について、及び当院概要の説明を受け、臨床現場や院内の施設を見学しました。

（救急外来で説明を受けている様子）

整形外科の病棟では車いすやストレッチャーを動かしたり、小児の病棟では乳児を抱いたり、脳神経外科の病棟では血圧を測ることなどを体験しました。

病棟以外ではリハビリ室・救急外来・ICU・手術室などを見学しました。

最初は少し緊張気味でしたが、患者さまにご協力をいただき、また周囲の職員に声をかけられながら、しだいに慣れてきて興味深く質問をしていました。

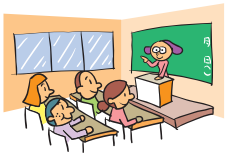
体験後、生徒から「生まれたばかりの赤ちゃんを抱いたことが心に残っています」「テレビで見ていたことが実際に体験できて感動した」「看護師の仕事は大変だけどやりがいがある」「この体験で看護師になりたい気持ちがより強くなった」「患者さまが温かく迎えて下さってうれしかった」などの感想がありました。

参加者の中から将来の当院の看護師が誕生することを期待しています。

出前講座お受けします!

11月24日に、富士東高等学校PTA「生徒の職業観を育む」活動の一環として、「職業講話」に呼んでいただきました。当日は、将来看護職などを目指す生徒さんに“私の職業”というテーマで、看護職に就くために必要な進路や資格、仕事の内容や楽しさなどについてお話しをさせていただきました。

看護部では、その他「思春期講座」など、様々な出前講座を市内の中学校や施設、また企業などで実施しています。



お問い合わせ
●看護部 内線3208

富士市立中央病院診療日程表

2010年1月1日現在

※都合により、内容が異なることがあります。

診療科 《部長名》		月	火	水	木	金	備考
内科	初診	田中	町田	山城	宮下	池田	火曜日の町田医師は1/12～福井医師になります。
(代謝一般内科)《藤井常宏》		藤井	宮下	山田	藤井	谷口	
		谷口		谷口	谷口	山城	
(呼吸器内科)《木村哲夫》		木村	木村	木村	木村		
(消化器内科)			馬場	(市田・平野)			市田医師の診察は、第1と第3週の午後のみです。
(腎内科)《笠井健司》		笠井	笠井	宇田川	宇田川	笠井	平野医師の診察は、第2と第4と第5週の午後のみです。
神経内科		八木	森田	河野		森田	《初診は完全紹介状制です。木曜日は休診日です。》
							《水曜日は午前9時～11時・金曜日は午後2時～4時です。》
循環器科	初診	小菅	(交替制)10時まで		阪本	吉野	金曜日の吉野医師の診察は、偶数週です。
						武本	金曜日の武本医師の診察は、奇数週です。
(循環器内科)《三川秀文》		阪本	三川	三川	三川	三川	《火曜日の初診受付は、午前10時までです。》
					浦部	阪本	
(心臓血管外科)《田中　圭》		吉田	田中				
小児科《瀬川孝昭》		瀬川	瀬川	千葉	秋山	千葉	火曜日の日馬医師の診察は午前10時30分からです。
		秋山	日馬	瀬川	本木	瀬川	木曜日の本木医師の診察は午前10時30分からです。
		斉藤	斉藤	秋山	斉藤	秋山	
外科《梶本徹也》		梶本	吉田	梶本	吉田	良元	
		大町	良元	大町	藤田	毛利	
		小山	藤田	毛利	小山	(交替制)	
整形外科《田邊登崇》		田邊	永井	(交替制)	永井	田邊	《初診は完全紹介状制です。水曜日は初診のみです。》
		久富	篠原	(交替制)	篠原	久富	《水曜日の初診受付は、午前10時までです。》
脳神経外科《諸岡　暁》		野田	諸岡	(交替制)	野田	諸岡	《水曜日は初診のみです。》
			秋山		柳澤		火曜日の諸岡医師、木曜日の野田医師は再診のみです。
形成外科《平川正彦》		平川		西村	平川	西村	《火曜日は休診日です。》
泌尿器科《後藤博一》		後藤	鈴木	後藤	鈴木	後藤	
産婦人科《窪田尚弘》	初診	窪田	平井	鈴木	原	山崎	《婦人科初診は完全紹介状制です。》
		平井	原	山崎	窪田	鈴木	←婦人科再診
		原	山崎	窪田	鈴木	平井	←妊婦健診
眼科《譲原大輔》		譲原	譲原	譲原	譲原	譲原	水曜日の譲原医師の診察は、偶数週です。
		藤谷	藤谷	藤谷	藤谷	藤谷	
耳鼻咽喉科《高柳博久》		吉田	高柳	吉田	高柳	(交替制)	金曜日は初診のみです。
		遠藤	(交替制)	(交替制)	遠藤		
皮膚科《津嶋友央》		津嶋	津嶋	津嶋	津嶋	津嶋	水曜日の津嶋医師の診察は、奇数週です。
		青島	青島	青島	青島	青島	水曜日の青島医師の診察は、偶数週です。
放射線科		(担当医)		(担当医)		(担当医)	←治療外来《初診は完全紹介予約制です。》
		大平		(交替制)	萬	成田	←診断外来
		竹永	竹永	竹永	竹永	竹永	《治療外来の月・金曜日は午後、水曜日は午前です。》
歯科口腔外科《勝山直彦》		勝山	勝山	勝山	勝山	勝山	片桐医師の診察は、火曜日は第2週と第4週、木曜日は第1週と第3週です。
		井出	井出	井出	井出	井出	
		勝田	勝田	勝田	勝田	勝田	
			(片桐)		(片桐)		

『完全紹介状制』の診療科について

○神経内科・整形外科・産婦人科（婦人科のみ）・放射線科外来を初めて受診される患者さま

上記診療科を受診する際は、まず近隣の医療機関を受診していただき、その後、専門的な検査や入院治療を要する方は、紹介により当院を受診していただくことになります。

・紹介状をお持ちで、予約がある患者さまは、予約時間に診察します。（放射線科外来は、予約がない患者さまは受診できません。）

・紹介状をお持ちで、予約がない患者さまは、予約患者さまの合間に診察します。　・紹介状をお持ちでない患者さまは、受診できません。

患者さまには大変ご迷惑をお掛けいたしますが、やむを得ずこのような対応をいたしますことをご理解いただきますようお願い申し上げます。

医師の人事異動について

病院総務課　内線2215

診療科	退任日	医師名	就任日	医師名
腎内科			平成22年 1 月 1日	福井（フクイ）　亮（リョウ）
神経内科	平成21年12月31日	森田（モリタ）　昌代（マサヨ）		
耳鼻咽喉科	平成21年12月31日	須田（スダ）　稔士（トシヒト）	平成22年 1 月 1日	吉田（ヨシダ）　正弘（マサヒロ）
放射線科	平成21年12月31日	東條（トウジョウ）　慎次郎（シンジロウ）	平成22年 1 月 1日	竹永（タケナガ）　晋介（シンスケ）

各科紹介

歯科口腔外科

歯科口腔外科は、平成15年5月より開設された新しい診療科です。早いもので開設より11月末現在で6年7か月が経過し、初診の患者さまは現在まで16,817人になり、年に換算すると約2,600人ということになります。これは都内の大学病院の口腔外科の初診数とほぼ同程度です。

診療内容は困難な抜歯や顎の骨折、腫瘍(できもの)、顎変形症(顎の奇形・変形)、嚢胞(袋を作るもの)、炎症(はれもの)、顎関節症、粘膜疾患(歯肉やべろ、頬)、口腔心身症、有病者や障害者の歯科治療、口腔ケア等多岐にわたっています。

また、高度治療を必要とする患者さまは、静岡県立静岡がんセンターや大学病院に紹介することもあります。

入れ歯を入れたり詰め物をするなどの通常の歯科治療は、開業医の先生にお任せしており、当科では行っていません。

スタッフは、常勤医師3名(平成21年4月より)、非常勤医師4名、臨床研修医1名、歯科衛生士3名、看護師1名、歯科技工士(非常勤)1名です。

地域の中核病院として、スタッフ一同日々研鑽に励み笑顔と体力で頑張りますのでよろしくお願いいたします。

(歯科口腔外科スタッフ)

ボランティアさんの活動

●外来受付ボランティア

当院では現在30名余りの方々が外来受付ボランティアとして活動をされており、患者さまが安心して受診できるようにお手伝いをしていただいています。

主な活動内容として、外来の診療科・検査室などへのご案内、外来受診時の受付のお手伝い、身体の不自由な方・お子さまへの付き添い、などをしていただいています。

中央玄関ホールでピンク色のエプロンを着ている方がボランティアの方です。何かお困りのことがありましたら、お気軽に声をかけて下さい。

その他にも、いろいろな場面でボランティアの方にご活躍いただいています。

●縫製ボランティア

患者さまが使用する袋類や帽子、各種カバー類等の作成。(在宅で出来ます)

●整備ボランティア(毎月第1・第3木曜日)

車椅子・ベッド・ワゴン類等の整備・点検。

ボランティア募集!!

富士市立中央病院では、ボランティア活動に参加していただける方を募集しています。

ご連絡お問い合わせは下記までお願いいたします。

●病院経営課 内線2221

お　し　ら　せ

【富士市立中央病院中期経営改善計画】の策定について

●病院経営課　内線2221

富士市立中央病院では、「患者サービスの向上」、「良質な医療の提供」及び「経営基盤の強化」を3本の柱とする【中期経営改善計画】を策定しました。内容には医療を取巻く現状を示しながら、中央病院の課題や役割について分析し、その課題や役割を踏まえた様々な施策を掲げ、それを実行することにより市民の方々が安心して受診できるような病院にしていきたいという職員の思いが込められています。

策定にあたっては、計画(案)の段階で市民の皆さまや多くの人たちのご意見をお伺いするため、パブリックコメントを実施しました。「広報ふじ」や市のウェブサイトなどを通じて周知を図り、1ケ月間意見募集を行ない、期間中に12件の貴重なご意見をいただきましたが、原案の修正に及ぶご意見はございませんでしたので、原案をそのまま正式な【計画】とさせていただきました。

これにより【計画】ができあがりましたので、中央病院の職員が一丸となってこの計画の実現に向けて取り組んでいきます。市民の皆さまのご理解をお願いいたします。

詳細は富士市立中央病院ウェブサイト(http://www.city.fuji.shizuoka.jp/ ~byoin/)をご覧ください。

糖尿病予防キャンペーンを実施しました

●栄養科　内線2146

平成21年11月14日(土)にイオン富士南ショッピングセンター内で糖尿病予防キャンペーンを行いました。国連が定める「世界糖尿病デー」と糖尿病週間に合わせ、糖尿病の治療と予防を広く呼びかけました。

病院からは院長はじめ医師・看護師・臨床検査技師・管理栄養士・薬剤師・理学療法士らが、血圧や血糖値の測定を実施し、その結果からアドバイスや啓発の資料配布を行いました。

※当日は200名を超えるお客さまに立ち寄っていただきました。

世界糖尿病デー
11月14日は、インスリンを発見したカナダの医師フレデリック・バンディングの誕生日

神経内科の診療について

●病院総務課　内線2215

平成22年1月以降、神経内科の診療体制が変更になりました。

初診については引き続き完全紹介状制となりますので、患者さまには大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

※火曜休診(12月まで)が木曜休診(1月以降)となりました。1月以降の火曜日は診療いたします。

※詳細は3ページの「富士市立中央病院診療日程表」をご覧ください。

お見舞いメールサービスのご利用について

●病院経営課　内線2221

当院では、ウェブサイトより患者さまへ「お見舞い・お祝いメール」を無料で送ることができます。送信されたメールは専用の台紙に印刷し、当院職員が病室へお届けします。入院中のご家族やご友人に、ぜひご利用下さい。

なお、本サービスは当院ウェブサイトからのお申し込みとなりますので、詳細は富士市立中央病院ウェブサイト(http://www.city.fuji.shizuoka.jp/ ~byoin/)をご覧ください。

Cバス(シーバス)の運行について

●病院経営課　内線2221

富士市では、「富士地域」と「富士川地域」間の移動をより便利にするための「Cバス」を、平成21年12月1日から1年間試験運行しています。市役所など主要施設を回る便利なルートが設定され、当院も通るコースとなっています。通院の際にはぜひご利用ください。

◎コース／富士川楽座～東名松岡(上り線)～東名富士(上り)～富士市立中央病院～富士市役所～吉原中央駅南～東名富士(下り)～東名松岡(下り線)～スマートIC下り出口～富士川楽座

◎運行日／毎日運行(8月13日～15日,12月29日～1月3日は運休)◎運賃／1乗車定額300円(小学生及び障害者手帳保持者は150円)◎運行本数／1日6便(所要時間:47分)

※お問い合わせは、富士市役所 都市計画課 公共交通推進担当まで　TEL0545-55-2904

詳細は富士市ウェブサイト(富士市　Cバス で検索)をご覧ください。

総合相談センター ～こんな相談を受付ています～ 内線2046

●**看護相談**（がん相談含む）●**よろず相談**…患者さまとご家族さまが抱える様々な問題を共に考え、解決していくお手伝いをします。病気や治療のこと、退院後の生活に対する不安など、専任の看護師がご相談に応じます。
●**医療安全相談**…受けた医療に関して疑問や不安があるが、医師に相談しづらい、などの相談に応じます。
●**医療福祉相談**（健診含む）…患者さまの介護保険の利用、医療費などの心配、退院後の生活の準備、転院先案内、などの相談に応じます。（医療福祉相談のみ 内線2918 ）

受付時間及び相談時間　月曜日～金曜日　8:30～16:30
※場所は1階正面玄関入って、すぐ右手です。お気軽にお声をお掛け下さい。

その他の病院内の相談は…

●**お薬相談**
月～金　8:30～17:00　お薬渡し口右横相談室
お問い合わせ：薬剤科 内線2126

●**栄養相談**　※予約制です。
月～金　栄養相談室（2階循環器科外来隣り）
お問い合わせ：栄養科 内線2146

●**検査に関する相談・血糖自己測定器の説明**
月～金　8:30～17:00　中央検査相談室（2階）
お問い合わせ：臨床検査科 内線2267

●**フットケア相談**　糖尿病の患者さまの足のケア
第2・第4水・木曜　13:30～15:30　内科外来（2階）
お問い合わせ:内科外来 内線2285

各種教室のご紹介

患者さまとご家族を対象とした各種教室を開催しています。どなたでも無料で参加できますので、開催日・講義内容については中央病院にお問い合わせのうえ、お気軽にご参加ください。開催場所は、各教室いずれも中央病院2階大会議室です。

●**腎臓病教室**　お問い合わせ：栄養科 内線2146
日時：毎月第3火曜日　15:00～16:00

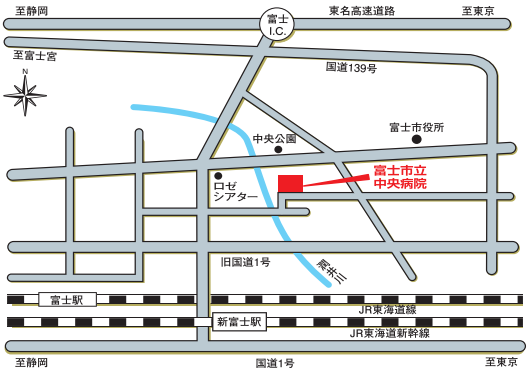
●**ファミリークラス**
お問い合わせ：産婦人科外来 内線2337
日時：毎月3回　13:00～15:00

富士市立中央病院

～平成21年度病院指針～
「電子カルテから始まるチーム医療“患者さんもチームの一員”」

〒417-8567 住所:静岡県富士市高島町50
電話:0545-52-1131　FAX:0545-51-7077
E-mail:byoin@div.city.fuji.shizuoka.jp

【アクセス】
富士ICより　車で10分
東海道本線富士駅より　タクシーまたはバスで10分
東海道新幹線新富士駅より　タクシーで10分



○病院だよりに関するご意見ご要望は病院経営課へお願い致します。
電話:0545-52-1131　内線:2221・2222　E-mail:ch-keiei@div.city.fuji.shizuoka.jp

「富士市立中央病院 病院だより」に広告を掲載しませんか。

●病院経営課　内線2221・2222

●広告を募集します!!

富士市立中央病院 病院だより第 8 号（ 平成22年4月20日発行 ）より、本誌当欄に広告を掲載することとなりました。

詳細は下記のとおりです。

●掲 載 料　1枠30,000円（消費税及び地方消費税込）
●募集期間　平成22年1月20日(水)から
　　平成22年2月26日(金)まで

●**選定方法**　「富士市広告掲載に関する指針」等に基づき審査し、広告掲載の可否を決定します。
●**申し込み**　直接または郵送で「富士市立中央病院　病院だより広告掲載申請書」（病院経営課で配布または富士市立中央病院ウェブサイトでダウンロード可）と広告原稿を添えて、富士市立中央病院 病院経営課へ提出してください。
※ http://www.city.fuji.shizuoka.jp/ ~byoin/

【広告掲載枠実物大】

広告に関する一切の責任は広告主に帰属します。また、富士市が推奨するものではありません。